

本宮講入講のおすすめ

霊峰本宮山を仰いで

◇本宮講の歴史

三河平野に聳え立つ本宮山（標高789メートル）は、古代より穂の茂山と称し、千年の古木生い茂る秀麗な神体山として敬仰され、山頂には大己貴命（大国さま）をお祀りする砥鹿神社奥宮が鎮座します。

今から1300年前に神託により里宮が創建されるや、以後奥宮里宮併せて三河国一之宮、また国幣小社と称され、大神様の広大な御神徳は、福德の神・国土開拓の神として仰がれて、三河はもとより東海各地から信仰を集めてまいりました。

この大神様の御神徳に報謝の誠を捧げ奉らんと、特に奥宮への信仰篤い人々によって昭和4年当神社付属本宮講が設立され、今日まで活動を続けています。

神社では講員の家内安全・家運隆昌祈願のため毎月15日に本宮講月次祭を斎行すると共に、春秋二季の講社大祭を秋は奥宮で斎行し、春は里宮で斎行申し上げております。

◇本宮講の趣意

御神縁を結ぶ

『しるや如何に 吾名をとばば 千はやぶる 神の始めの 神とこそいはめ』

砥鹿大神霊峰本宮山山中に出現し、詠じ給うた歌

霊峰本宮山の信仰の歴史は古く、御山全体が神々の鎮まる神奈備山として、また山中に横たわる巨岩や苔生す巨木は神々の宿る磐座・神籬として、古代の人々に崇められ、やがて山頂に社殿が創建されると共に、砥鹿大神様の靈験は広く知れ渡り、里人は大神様の御神徳を蒙り奉らんと寒暑に耐えて競って登山参拝を行うようになりました。

山頂まで車での参拝が容易となった今日にあっても、徒歩による登山参拝は絶えることがありません。

この靈験あらたかな砥鹿大神様の御神徳の下、大神様との御神縁を深めて戴きたく、本宮講への入講をお勧め致します。

◇活 動

「願掛け成就」の御神徳を慕って

- ◆ 本宮講春季大祭 参列 4月第1日曜日 午前11時
里宮にて本宮講大祭齋行並び総会開催
- ◆ 本宮講秋季大祭 参列 10月下旬日曜日 午前11時
※奥宮にて「大祈祷祭」延命麦とろ会開催
※ふくろう霊鳥とが ふくろう梟の霊威を籠めた「福籠守」授与
- ◆ 宝印祭 参列 1月6日 午後1時
奥宮末社守見殿神社で齋行。祭典後は病み伏せ
無病息災を叶える、神社秘伝の宝印が授けられる。
- ◆ 奥宮例祭 参列 2月6日 午前10時

本宮山の山懐に抱かれて……

- ◆ 本宮講秋季大祭登山参拝実施
本宮山表参道一の鳥居から山頂奥宮まで約四キロメートル
徒歩にて約2時間
- ◆ 奥宮境内設備の整備拡充協賛
- ◆ 奥宮境内林の保護育成・記念植樹の実施
- ◆ 本宮山登山道整備ボランティア参加
- ◆ 本宮山植物観察教室参加
- ◆ 本宮山「麦とろ会」参加 10月～4月

自然の心に立ち返る

祈
家内安全・商売繁盛・厄除け開運……

◇講員の特典

- ◆ 講員の家内安全・家運隆昌祈願のため毎月15日に奥宮・里宮において本宮講月次祭を齋行
- ◆ 入講費貳千円納入の方には講員章発行
- ◆ 講員章提示の方には、里宮にて毎月15日午前9時齋行の本宮講月次祭に参列戴けます。
また奥宮では、一年を通じて昇殿参拝を奉仕致します。

- ◆ 本宮講大祭他奥宮祭典行事案内を差し上げます

◇講

費

- ◆ 入講費 貳千円
- ◆ 年講費 三千円 (春季大祭時に納金・年間祈祷料)
- ◆ 祈祷料 五千円以上 (秋季大祭特別祈祷初穂料)

◇入講申し込みの方法

- ◆ 砥鹿神社社務所へ直接若しくはお電話にてお申し込み下さい。
お電話の場合は、必要書類をご郵送致します。
※お申し込み先 電話0533-93-2001